



2 月度 議員懇談会



挨拶する八木会頭

2月2日午前11時より福井商工会議所ビルにて2月度議員懇談会を開催した。

開会にあたり八木会頭は、先月25日投開票が行われた福井県知事選挙に言及し「新しい県政の舵取り役が選ばれた。新知事には選挙を通じて示された県民の声、北陸新幹線の延伸、原子力政策、アリーナ整備など地域が抱える課題について、現場の声を傾けながら掘り下げていただいた上で、スピード感と実行力を持って県政運営にあたっていただきたい」と期待を寄せた。

また、今冬は大雪の影響や衆議院選挙など、予想外のことが多く、地域活動を取り巻く環境も平穏とは言えない状況が続いているとした上で、「政治、経済、自然環境が目まぐるしく変化する時期にあつてこそ、我々経済団体は一過性の動きに振り回されることなく、腰を据えて地域の足元を支えていく姿勢が求められる」と強調した。

続く卓話では、「フェムテックが導く女性活躍と成長経営」をテーマに、Flora株式会社が代表を努めるクレシエンコ・アンナCEOより講演があった。フェムテックとはFemale（女性）とTechnology（技術）からできた造語

であり、月経、妊娠・出産、更年期などの女性特有の健康課題について、先進的な技術を用いて対応する製品・サービスのことを指す。

ウクライナ出身の女性起業家であるアンナCEOは、全国の100社以上が同社のサービスを導入し、20万人以上のユーザーを有していることを紹介。女性のヘルスケアに関するビッグデータを構築し、従業員向けの健康管理アプリやデータ分析システムを通じて、不妊治療と仕事の両立支援、生理や更年期への対応など、個々の健康課題に合わせたソリューションを提供している。女性の健康課題による労働損失は日本全体で年間約2.5兆円に上ると試算されており、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中125位と低迷している現状を説明。また、世界的にも近年までは臨床試験データがほぼ男性限定のものであったことや、勤務先での女性特有の健康課題について52%の女性が困った経験があるといった実状にも言及。同社がこれまで物流業界や飲食業界などをはじめ人手不足が深刻な業界で取り組んできた事例では、女性特有の健康課題にアプローチすることで、欠勤率の低下やエンゲージメントの向上といった成果が出ていることを報

告した。

アンナCEOは「女性の健康を巡る問題は、もはや個人の努力では解決できない『組織の課題』へと広がっている。だからこそ企業が主体となって環境を整えることが不可欠だ。働きやすさの向上だけでなく、組織の成長にも直結する。デジタル技術を生かして女性活躍を推進することで、成長のチャンスが大きく広がる」と訴え、事業への理解と協力を求めた。

最後に報告事項として、福井商工会議所が2月3日に福井市と締結する「人的資本経営推進に関する包括連携協定」の内容について説明があった。

【議員異動】（敬称略）

アクサ生命保険(株)福井支社
（新）江岸 達也（支社長）
（旧）吉田 耕一（支社長）



Flora 株式会社
のクレシエンコ・アンナ CEO